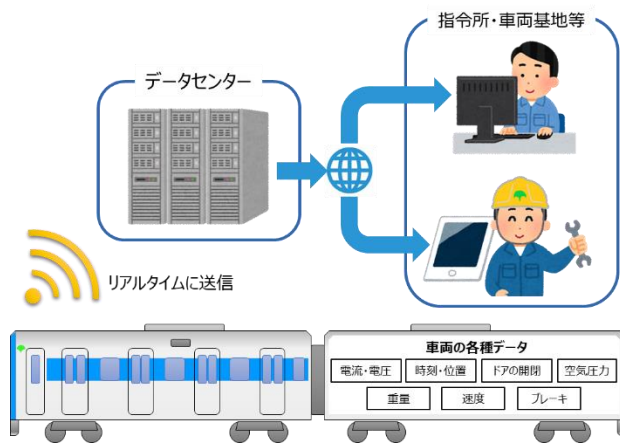


都営三田線 新型車両 6500 形に「車両情報収集システム」を導入 ～デジタル技術を活用し、安全・安定運行に貢献～

東京都交通局では、IoT やビッグデータ等のデジタル技術を活用し、車両の状態をリアルタイムに可視化する「車両情報収集システム」を新たに導入します。

走行中の車両状態を指令所等で確認することで、異常時対応の迅速化などを図るとともに、収集・蓄積する様々な機器のデータを活用した新たな保守にも取り組んでまいります。

この車両情報収集システムは、都営三田線の新型車両 6500 形の導入に合わせて、令和 4 年度中の運用開始を予定しています。



車両情報収集システムのイメージ



都営三田線 6500 形車両

<システムの特長>

1 車両のデータをリアルタイムに収集し、車両状態の可視化を実現

- ◆ 走行中の車両から各種データ（ブレーキ、速度、混雑状況等）を無線通信により送信することで、指令所や車両基地等の離れた場所でもリアルタイムに車両状態を確認できます。
- ◆ 車両異常時には、詳細な状況を指令員と保守作業員が迅速かつ正確に共有することで、復旧作業等を円滑に実施できます。

2 収集した車両のデータを蓄積・分析し、予防保全等へ活用

- ◆ データを自動的に蓄積することで、機器毎の詳細な傾向分析等が可能となります。
- ◆ 分析結果を活用し、異常の早期発見や部品交換周期の最適化など、より効果的な予防保全を目指します。

【お問い合わせ先】都営交通お客様センター 03-3816-5700 (9:00～20:00 年中無休)